

【研究課題名】

愛知県 COPD 医療連携パスを利用した、慢性閉塞性肺疾患（COPD）患者の実態調査

1. 研究の対象

2019年3月1日から2026年12月31日の期間でCOPD医療連携パスに登録したCOPD患者

2. 研究目的・方法

【研究の目的と意義】

・目的：

近年の日本人の高齢化に伴い、慢性閉塞性肺疾患（Chronic obstructive lung disease:以下 COPD）の罹患率が増加し、健康日本 21 における重要疾患の一つとして考えられています。しかし、未だに全国的に COPD の認知度は 30%前後と低く、また本邦の COPD ガイドラインでは、病診連携の重要性が提示されていますが多くの地域で機能していない事が報告されています。愛知県では、COPD の認知度向上と地域連携医療への取り組みとして、愛知県 COPD ネットワーク（以下 AC.net）が 2017 年に設立されました。AC.net では、COPD 新規診断/既診断の患者様を地域連携パスに登録し、COPD 連携手帳を渡しています。これにより、かかりつけ医と専門病院での患者の情報共有を行えることとなりました。

そこで今回、名城病院に受診され、COPD 地域連携パスを導入した患者様の診療情報を収集・解析することにより、COPD 診療の問題点などを明らかにすることで、より適切な診療を提言するために調査を実施します。

・意義：

COPD 診療において、早期診断のための連携推進、患者指導の連携推進、地域連携パスを活用した定期的な専門医での評価などのシステム作りが重要です。今回 COPD 医療連携パスに登録した患者の臨床経過を解析することで、連携パスにおける問題点、専門医・非専門医の相違点などを明確にすることで、COPD 診療の標準化とともに、地域レベルでのチーム医療の実践などの臨床的な貢献が期待されます。

【研究の方法】

2019年3月1日から2026年12月31日の期間でCOPD医療連携パスに登録したCOPD患者様の臨床データを収集し情報を匿名化した後に、研究事務局である名城病院呼吸器内科で情報の解析を行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：日常診療の範囲内で行われる診療行為に基づく以下情報を収集します。

病歴、喫煙歴、急性増悪歴、自覚症状、肺機能検査、等

4. 個人情報の取り扱い

対象となる患者さんの診療記録等より、定型化された電子データベースに基づき情報を収集(抽出加工)します。この過程において、電子データベースに入力する際は、研究対象者の患者 ID を入力すると同時に ID とは異なった識別番号が割り当てられます。データを研究事務局で解析する際は患者個々人の情報は匿名化され、識別番号のみを通達する形になり個人の識別は不可能となります(個人情報でなくなります)。研究組織全体としては「連結可能匿名化」となり、対応表は研究事務局で保管します。

5. 参加機関（参加予定も含みます）

国家公務員共済組合連合会 名城病院
独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名城病院

担当：池田 由香里

住所：名古屋市中区三の丸一丁目3番1号

電話番号：052-201-5311 FAX：052-201-5318

研究代表者：

同上